

政策整理番号 23

評価シート(A)

対象年度	H17	作成部課室	教育庁生涯学習課	関係部課室	
------	-----	-------	----------	-------	--

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	3 - 7 - 2	政策名	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実
------	-----------	-----	--------------------

政策概要	県民のだけれどもが、いつでも、主体的、自発的に学ぶことができ、生涯にわたって、自分を磨き、自己を充実させ、豊かで生きがいのある生活を送ることができるような環境づくりを目指します。
------	---

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標	達成度
1	多様なニーズに対応した学習機会の提供 県民のだけれどもが、主体的・自発的に学ぶことができる、多様な学習機会の提供を目指します。	みやぎ県民大学受講者数(累計)	A
		公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり)	B
2	地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成 地域の学習グループの相談に応じたり、様々な学習機会を企画立案できる人材やNPOなどの発掘・育成を目指します。		
3	行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化 生涯学習に関わる様々な機関や団体が、それぞれの役割や特性を踏まえ、相互に連携・協力して適切な生涯学習事業が進められるように、行政、大学等、関係機関・団体のネットワーク化を推進します。		
4	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実 人々の学習の場としての機能にとどまらず、交流の場や情報センター、地域づくりの場としての機能を果たす、生涯学習関連施設の整備・充実を目指します。		
5	生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実 それぞれの地域、家庭に居ながらにして、容易に生涯学習に関する情報を得られるように、様々な情報提供システムの充実を目指します。		

達成度:A(目標値を達成している),B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)  
C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している),...(現状値が把握できないため判定不能)

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

	第5回(H17)	参考:第1~4回の推移	第4回(H16)	第3回(H15)	第2回(H14)	第1回(H13)
重視度(中央値、点) A	70.0	重視度 A	70	70	70	70
満足度(中央値、点) B	50.0	満足度 B	60	60	60	60
かい離 A-B 【かい離度】	20.0 【高い】	かい離 A-B 【かい離度】	10 【中】	10 【中】	10 【中】	10 【中】
満足度60点以上の回答者割合(%)	44.5	満足度60点以上の回答者割合	56.8	55.9	54.3	-

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第1~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切

概ね適切

課題有

<p>A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 適切 ・各施策の概要は上記記載のとおりであり、政策を実現するためには5施策全てが必要である。</p> <p>【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・無</p> <p>A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 適切 ・県民満足度でかい離度は20.0点と高い。 ・少子高齢化が進展している中、教育分野において生涯学習の重要性が今後さらに増していくであろうことは、誰が見ても明らかである。</p>
---

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括	
	優先度 (直近の3回)	県民が必要と感じているか( )				
1	第5回 29.8%	2位	・本施策の優先度は 5施策中 2位である。 ・本施策のかい離は 20.0点と 高い。 【結論】必要性: ある程度感じている	・少子高齢化が進展する中、価値観やライフスタイルの多様化や各種社会的問題等に対応していくためには、広域かつ多様な学習機会を提供していく必要性は極めて高い。 ・市町村においては優先度第1位。 ・県内どこでも、大差なく、多様な学習機会を提供するためには、各地域に生涯学習の振興を支える人材や団体が必要不可欠である。 ・生涯学習の振興を図る上では、行政や学校等の教育機関、また関係団体と連携・協力し合える体制・ネットワークを構築していく必要がある。 ・生涯学習を行うにあたっては、活動したり、情報を収集する施設等の整備・充実が必要である。 ・一般県民及び学識者において、優先度第1位。 ・超高齢社会になり、生涯学習にあたり、情報の提供及び収集を容易に、しかも効率的に行うことができるシステムの整備は特に重要になってくる。	大	
	第4回 26.4%	2位				
	第3回 26.7%	2位				
2	17.6%	3位	・本施策の優先度は 5施策中 3位である。 ・本施策のかい離は 25.0点と 高い。 【結論】必要性: ある程度感じている			大
	20.8%	3位				
	22.6%	3位				
3	6.5%	5位	・本施策の優先度は 5施策中 5位である。 ・本施策のかい離は 20.0点と 高い。 【結論】必要性: あまり感じていない			中
	6.2%	5位				
	6.3%	5位				
4	31.3%	1位	・本施策の優先度は 5施策中 1位である。 ・本施策のかい離は 20.0点と 高い。 【結論】必要性: ある程度感じている			大
	31.1%	1位				
	28.7%	1位				
5	13.8%	4位	・本施策の優先度は 5施策中 4位である。 ・本施策のかい離は 20.0点と 高い。 【結論】必要性: 比較的感じていない			中
	14.2%	4位				
	14.9%	4位				

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切

概ね適切

課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 適切  
 ・2指標ともに適切であり、今後も継続する。「政策評価指標分析カード」から  
 【重視すべき施策に指標が設定されているか】 適切  
 ・設定されている。  
 ・みやぎ県民大学受講者数  
 ・公立図書館における図書資料貸出数

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効

概ね有効

課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視 点	政策全体	施策1					
政策評価指標達成度	概ね有効	課題有					
県民満足度	概ね有効	概ね有効					
社会経済情勢	有効	有効					
全 体	概ね有効	概ね有効					

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切

概ね適切

課題有

・A-1 政策を構成する施策群の設定については適切である。  
 ・A-2 政策評価指標の設定も適切である。  
 ・A-3 施策群については、政策評価指標達成度等から概ね有効である。  
 以上から、本政策については、概ね適切であると判断する。

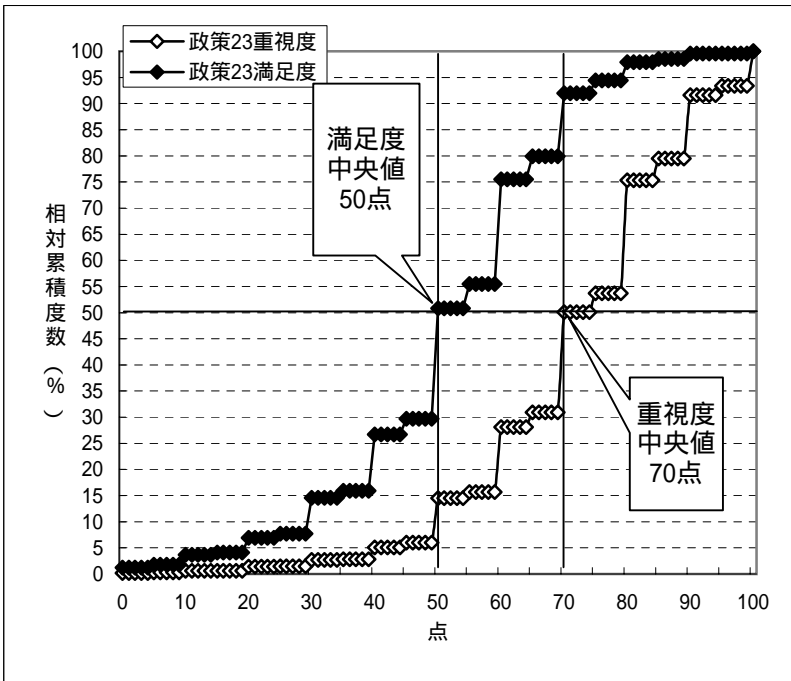
対象年度 H17

政策番号 3 - 7 - 2

政策名 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 80.8      高認知度 34.6



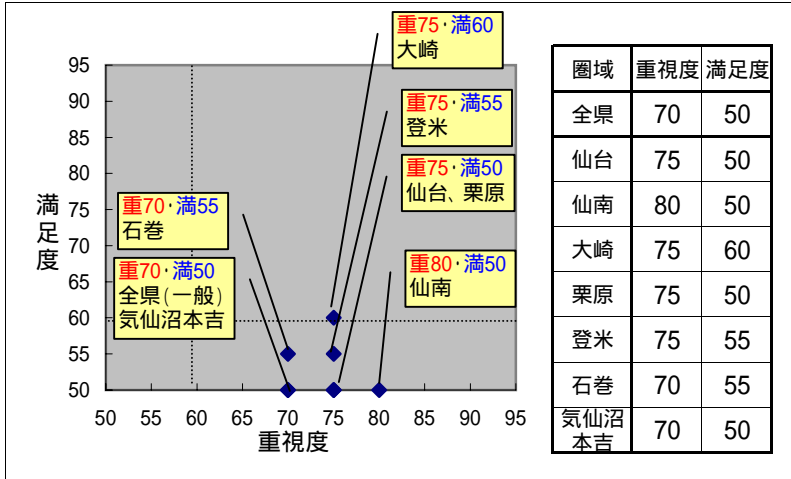
**高関心度**  
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心がある」、「ある程度関心がある」を選択した回答者の全回答者に対する割合

**高認知度**  
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っている」、「ある程度知っている」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量

項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	70	70	70	50	60	60
第1四分位	-	-	-	40	50	50
第3四分位	-	-	-	60	65	65
四分偏差	-	-	-	10	7.5	7.5

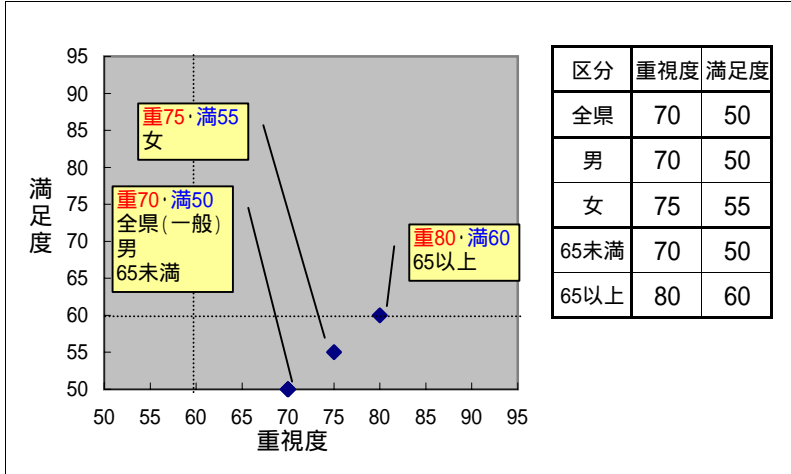
散布図



圏域別中央値(一般、市町村のみ)

圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	70	70	70	50	60	60
仙台	75	70	-	50	60	-
仙南	80	70	-	50	55	-
大崎	75	75	-	60	60	-
栗原	75	70	-	50	60	-
登米	75	77.5	-	55	60	-
石巻	70	60	-	55	50	-
気仙沼本吉	70	70	-	50	60	-

散布図



男女別・年代別中央値(一般のみ)

区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	70	70	70	50	60	60
男	70	-	-	50	-	-
女	75	-	-	55	-	-
65未満	70	-	-	50	-	-
65以上	80	-	-	60	-	-

対象年度 H17

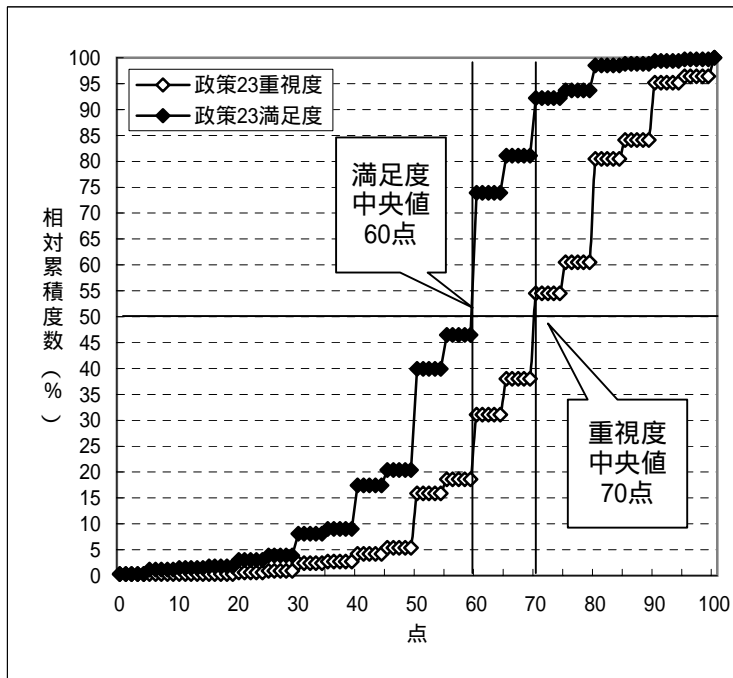
政策番号 3 - 7 - 2

政策名 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実

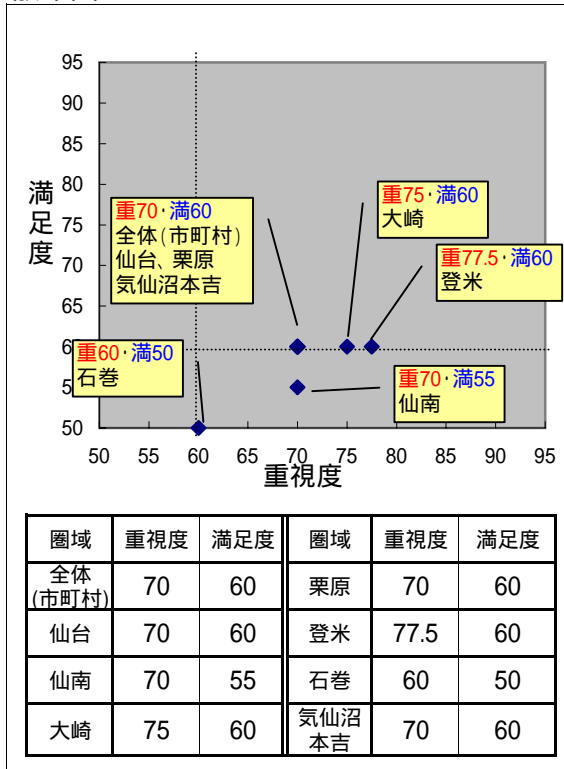
(2) 有識者(市町村職員)満足度調査結果

高関心度 76.4

高認知度 53.3



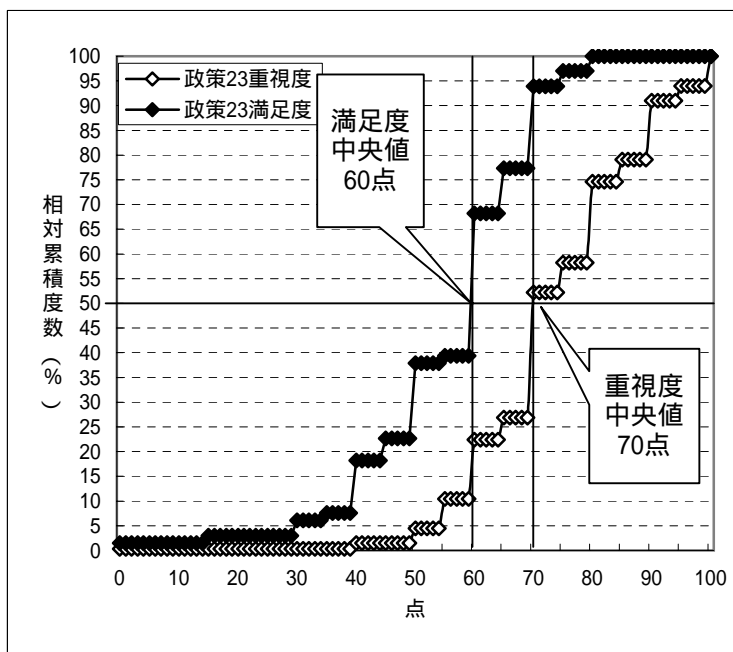
散布図



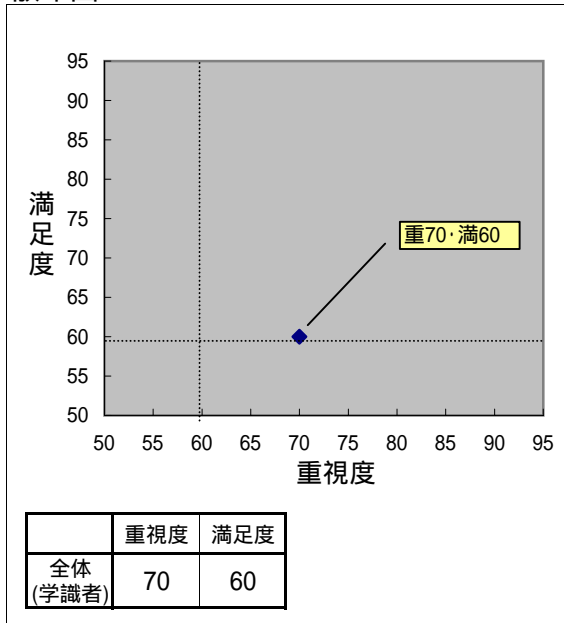
(3) 有識者(学識者)満足度調査結果

高関心度 83.3

高認知度 57.6



散布図

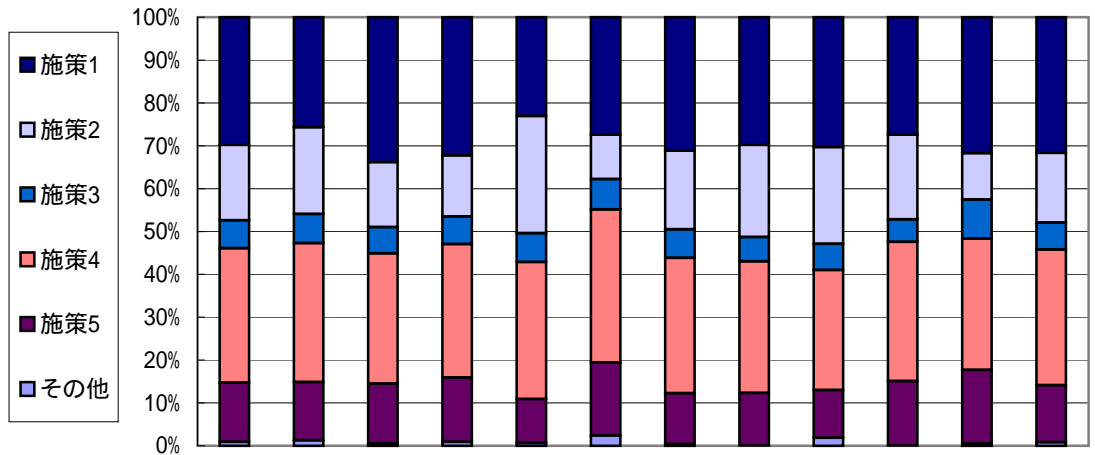


対象年度 H17

政策番号 3 - 7 - 2

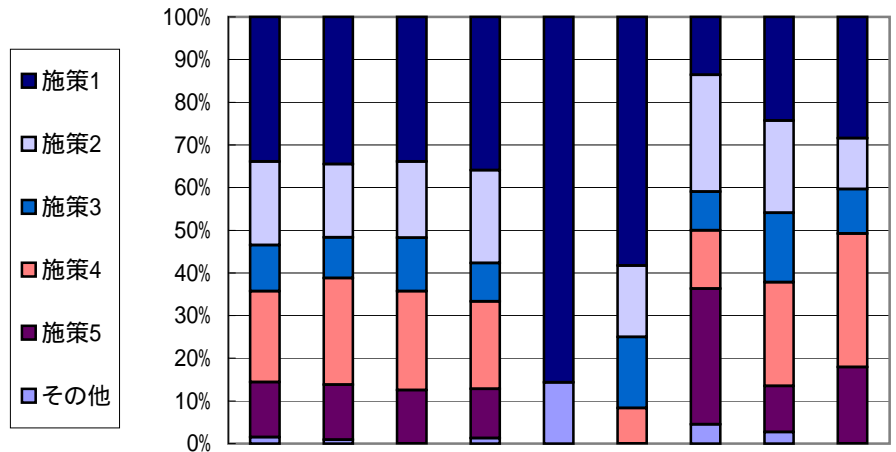
政策名 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉
施策1	多様なニーズに対応した学習機会の提供	29.8	25.7	33.8	32.2	23.1	27.4	31.1	29.8	30.3	27.4	31.7	31.7
施策2	地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	17.6	20.3	15.2	14.3	27.3	10.4	18.4	21.5	22.6	19.8	10.8	16.3
施策3	行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化	6.5	6.8	6.1	6.4	6.7	7.1	6.6	5.7	6.1	5.2	9.1	6.3
施策4	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	31.3	32.4	30.4	31.1	32.0	35.8	31.6	30.7	28.0	32.5	30.6	31.7
施策5	生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	13.8	13.6	14.0	15.0	10.2	17.0	11.8	12.3	11.1	15.1	17.2	13.3
	その他	0.9	1.3	0.5	0.9	0.7	2.4	0.4	0.0	1.9	0.0	0.5	0.8

(5) 有識者(市町村職員・学識者)満足度結果(施策別・優先度1位割合)



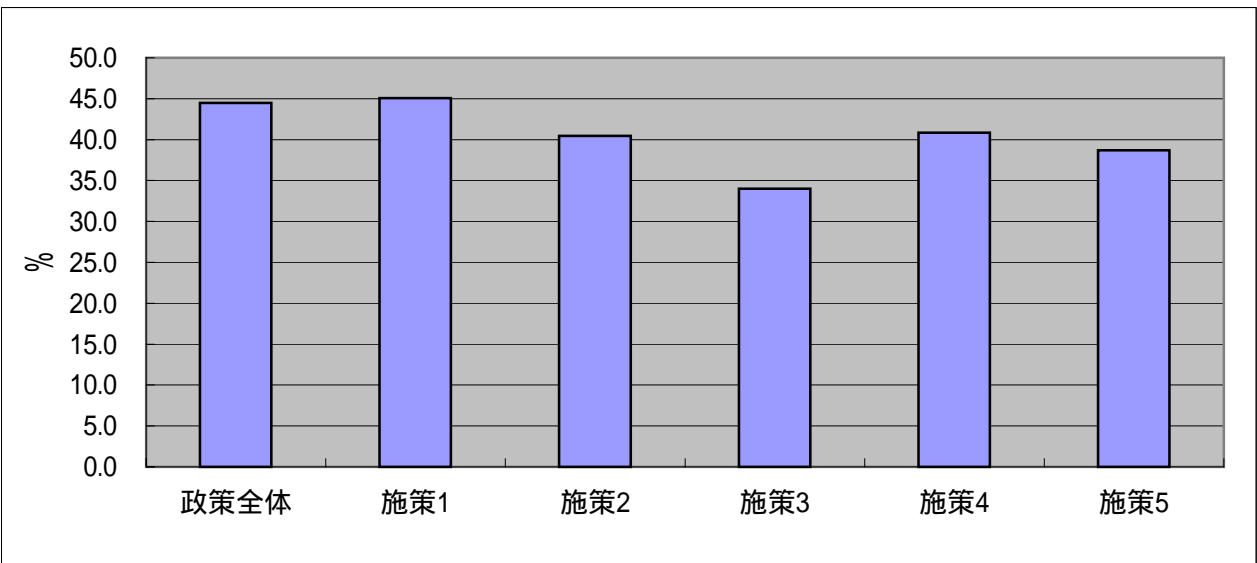
施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	
施策1	多様なニーズに対応した学習機会の提供	33.9	34.5	33.9	35.9	85.7	58.3	13.6	24.3	28.4
施策2	地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	19.5	17.2	17.9	21.8	0.0	16.7	27.3	21.6	11.9
施策3	行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化	10.8	9.5	12.5	9.0	0.0	16.7	9.1	16.2	10.4
施策4	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	21.3	25.0	23.2	20.5	0.0	8.3	13.6	24.3	31.3
施策5	生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	12.9	12.9	12.5	11.5	0.0	0.0	31.8	10.8	17.9
	その他	1.5	0.9	0.0	1.3	14.3	0.0	4.5	2.7	0.0

対象年度 H17

政策番号 3 - 7 - 2

政策名 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実

(6) 政策・施策満足度60点以上の回答者割合(一般県民、単位:%)



施策番号	施策名	第5回							
	政策全体	44.5							
施策1	多様なニーズに対応した学習機会の提供	45.1							
施策2	地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	40.4							
施策3	行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化	34.0							
施策4	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	40.9							
施策5	生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	38.7							